

夏秋切りきんぎょそうの摘心栽培法

(岩手園試高冷地開発センター)

1. 背景とねらい

県北部の中山間地や沿岸のやませ地帯は夏期冷涼であることからきんぎょそう栽培の適地と考えられた。そこで、継続的な採花を目的に、は種期と摘心時期とを組合せた夏秋切りきんぎょそうの摘心栽培法について検討したので得られた成果を参考に供する。

2. 技術の内容

1) 夏秋切り作型における摘心栽培法のは種期と摘心時期

(1) は種期別摘心期と採花期 (本葉7節展葉時摘心の標準作型)

は種期	摘心期	採 花 期	
		一 番 切 り	二 番 切 り
3月下旬	6月中旬	7月下旬	9月上旬
4月中旬	7月上旬	8月上旬	9月下旬
5月上旬	7月中旬	8月中旬	10月上旬
6月上旬	7月下旬	9月上旬	10月下旬
6月中旬	8月上旬	9月中旬～下旬	
6月下旬	8月中～下旬	10月上旬～中旬	

(2) 一番切りの摘心方法と仕立方法

ア 摘心時期 本葉5～10節展葉時に摘心する。

イ 摘心節位 本葉4節と本葉5節の節間で摘心する。

ウ 側枝仕立節位 本葉2節と本葉3節から発生している側枝を使用する。

エ 仕立本数 2本/株

(3) は種期と摘心期の晩限

1番切のは種期の晩限は8月末までに摘心が終える6月下旬とする。9月上旬以降の摘心は採花期が11月以降の低温期にあたるため無加温では収穫が困難となる場合があり、品種の早晩性にもよるが本葉7節展葉時の摘心では8月末までに終了する。

(4) 7月上旬～8月上旬摘心期における摘心時期別採花期の調節

夏秋切りきんぎょそうはは種期や摘心期が近接すると採花期が一斉となり収穫が繁忙となるので摘心時期をずらして採花期を調節する。本葉10節展葉時摘心では5節展葉時摘心に比べて採花期を10日おくらせることができる。

2) 夏秋切り作型に適した品種としてライトピンクバタフライやメリーランドアップル

フロッサムなどがあげられる。

3) 適応地帯 県北部の雨よけ栽培

3. 指導上の留意事項

- 1) 品種の選定にあたっては、新しい品種の開発に合わせて市場の動向を参考にする。
- 2) 植栽本数は m^2 当り27.8株程度とする。
- 3) 摘心し側枝の整理後は液肥を葉面散布し生育を促進させる。
- 4) 一番切り採花後の株仕立ては、既に伸びている側枝をそのまま用いると茎が細く切花長が短くなるため取り除き、出始めている側枝を数本残す。その後、太めの側枝を2本に整理して仕立て本数を確保する。側枝の整理後は液肥の葉面散布等で追肥する。
- 5) きんぎょそうは $0^{\circ}C$ 以下になると寒害を受け、花飛びや奇形花になるので晩秋の採花では最低気温が $10^{\circ}C$ 以下にならないように保温には十分留意する。

4. 試験成績概要

表1 4月17日は種の摘心時期別切花品質 (平成4年 野田村)

摘心時節数	摘心月日	摘心時の生育				採花期の切花品質						
		草丈 (cm)	葉数 (枚)	葉長 (cm)	葉幅 (cm)	採花月日	切花長 (cm)	切花重 (g)	葉数 (枚)	花穂長 (cm)	開花輪数	茎径 (mm)
5節	7・2	12.4	9.7	5.6	2.9	7・31	52	19	13.7	13.8	4.9	4.7
7節	7・9	18.4	14.4	6.0	2.8	8・4	49	18	12.8	12.5	4.3	4.8
10節	7・16	35.4	19.1	7.7	2.8	8・9	50	20	12.6	12.3	6.8	3.6

【耕種概要】* 供試品種 ライトピンクハタライ

摘心時節数 摘心した時の節数。各区の節の本葉が展開した頃に摘心した。

表2 は種期別摘心期と採花期までの日数等 (平成3、4年 野田村)

は種期 (年・月・日)	摘心期 (月・日)	側枝整理月日	採花期 (月・日)	は種期～摘心期までの日数	摘心期～採花期までの日数	は種期～採花期までの日数
4・3・27	6・19		7・22	85	34	119
3・27		8・18	9・8 (二番切)	-	(22) ¹⁾	-
3・27		9・8	三番切11月末現在未開花のため調査中止			
4・17	7・9		8・4	84	27	111
6・1	7・31		9・3	61	35	96
6・1		9・3	10・27	-	(55) ¹⁾	-
6・15	8・9		9・10	56	33	89
6・15		9・10	二番切11月末現在未開花のため調査中止			
3・6・20	8・23		10・4	65	43	109
7・15	9・20		11月末現在未開花のため調査中止			

()¹⁾ : 側枝整理日～採花期までの日数, 供試品種: ライトピンクハタライ